


1 実践の概要

テーマ	講話及び演習 「避難所運営ゲーム (HUG)」
外部指導者	県総合防災課 主事 今野 克洸 氏
実施日時	令和7年10月29日(水) 午前10時から午後12時50分
実施場所	秋田県立五城目高等学校
参加者	生徒53名 職員16名

2 実践内容

講演や演習等の様子	<p>防災講話 演習「避難所運営ゲーム (HUG)」</p> <p>【所感】 演習「避難所運営ゲーム (HUG)」では、生徒が知恵を出し合って次々訪れる地域住民や様々なイベントに対応しようと奮闘していた。訪問者のペースが上がった後半は対応しきれなくなって苦慮する場面が多々あったが、今回の学びを経た彼らは実際に避難所が開設された際、大きな戦力になり得ると感じた。</p> 
-----------	--

3 参加者の感想

生徒	<ul style="list-style-type: none">大雨の様子の説明を聞いたり、動画を見せてもらったりして、テレビや新聞の報道だけでは分からなかった自然災害のリアルな部分を知ることができて良かった。万が一、五城目高校が避難所になった時には、自分にもできることを探して積極的に行動に移るようにしたいと思った。
職員	学年の枠を越えてのグループ活動であったので、最初のうちは硬さが見られたが、講師の雰囲気づくりの効果もあり、徐々に活発に意見交換する場面が見られるようになった。これまで、どこか他人ごとのように考えていた災害や避難所の運営に関する問題を自分達の身に起こり得ることという視点で実感をもって捉え直すことができるようになったのは大きな収穫である。